



東京大学大学院工学系研究科  
エネルギー・資源フロンティアセンター  
Frontier Research Center for Energy and Resources (FR CER)

## 第2回

# Carbon dioxide Capture & Storage フォーラム

## 日本型 CCS に向けた技術開発の実際と展望 ～2020 年を見据え、いま何を成すべきか～

現在進行中の主だったプロジェクトに関係している方々を講演者に招き、2020 年を見据えて「日本型 CCS」への貢献の在り方を探ります。

日時：平成 21 年 12 月 3 日（木）13:00 ～ 18:10（受付開始 12:30）

場所：東京大学工学部 武田先端知ビル 5 階 武田ホール  
（東京都文京区弥生 2-11-16 本郷キャンパス浅野地区）

参加費：無料、要旨集 2,000 円、懇親会 3,000 円（当日受付にて申し受けます）

協賛：東京大学エネルギー工学連携研究センター（CEE）  
東京大学先端電力エネルギー・環境技術教育研究センター（APET）

### プログラム

13:00 ～ 13:10	開会の辞	東京大学 大学院工学系研究科長 保立和夫
13:10 ～ 13:20	第 2 回 CCS フォーラム開催にあたって	東京大学 大学院工学系研究科 教授 佐藤光三
13:20 ～ 14:00	地質からみた「日本型 CCS」：日本の貯留層と世界の貯留層	東京大学 大学院工学系研究科 教授 玉木賢策
14:00 ～ 14:40	CCS 導入のために：CCS 実証事業の安全な実施にあたって	経済産業省 環境技術室 室長 小澤典明
14:40 ～ 15:30	システムとしての CCS：革新的ゼロエミッション石炭ガス化発電プロジェクト	新エネルギー・産業技術総合開発機構 クリーンコール開発推進部 主査 横塚正俊
15:30 ～ 16:00	コーヒーブレイク	
16:00 ～ 16:40	CCS 基盤技術のために：二酸化炭素貯留隔離技術研究開発	地球環境産業技術研究機構 CO <sub>2</sub> 貯留研究グループ 主席研究員 中川加明一郎
16:40 ～ 17:20	環境影響に備えて：二酸化炭素海底下地層貯留に係る環境管理手法の高度化に関する技術開発事業	日本エヌ・ユー・エス株式会社 地球環境ユニット リーダー 鈴木さとし
17:20 ～ 18:00	CCS 実証を見据えて：二酸化炭素削減技術実証試験	日本 CCS 調査株式会社 技術企画部 部長 阿部正憲
18:00 ～ 18:10	閉会の辞	物理探査学会 会長・東京大学 教授 六川修一
18:20 ～	懇親会（武田ホールホワイエにて）	

### お問い合わせ・お申し込み

東京大学大学院工学系研究科 エネルギー・資源フロンティアセンター事務局  
〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 TEL 03-5841-0243

E-mail [event@frcer.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:event@frcer.t.u-tokyo.ac.jp) URL <http://www.frcer.t.u-tokyo.ac.jp/>

氏名、所属、連絡先、要旨集の要否、懇親会参加の有無を明記の上、電子メールにて 11 月 20 日（金）までにお申し込み下さい。なお、定員に達し次第締め切らせていただきますので予めご了承ください。

